

石巻地方のほとんどの小中学校で26日、2学期の始業式があった。長い夏休みを過ごした児童生徒は、運動会や文化祭、学芸会などを控え、活躍の場が待っている。学年にも慣れ、落ち着いて学びに集中できる時期だ。中学3年生は高校受験に向け勉強の熱度を上げていく秋の陣となる。

2学期も頑張りますよ」と述べた。

児童代表が夏休みの思い出や2学期の抱負を発表。さん(6)は「ビート板を使わずに泳ぐことと、たぐさんの本を読むため漢字を覚えたい」と話した。さん(10)は「1学期に20回連続で漢字テスト100点を取った。2学期も頑張りたい」

成長刻む日焼け顔

小中学校で始業式

石巻市前谷地小(児童128人)では、日焼けした子どもたちが元気に登校。始業式では、三浦純子校長が閉幕したりオデジャネイロ五輪で日本人選手が受けたインタビューを例に「一言目に周囲への感謝を口にしていた。みんないろいろな人から支えを受けていますね。頑張ると周りの人に元気や喜びを与えます。」と意欲を見せた。

式の後、児童たちは各教室に戻り宿題を提出した。2年生の教室では、19人の児童が担任の斎藤美奈子教諭(27)にポスターや習字などを手渡し、作品を紹介した。

石巻地方では、石巻市桃生中が23日、東松島市矢本一中が24日に始業式を行った。



夏休みの宿題を手に、笑顔を見せる前谷地小の2年生